

参考資料1

# 参考資料編

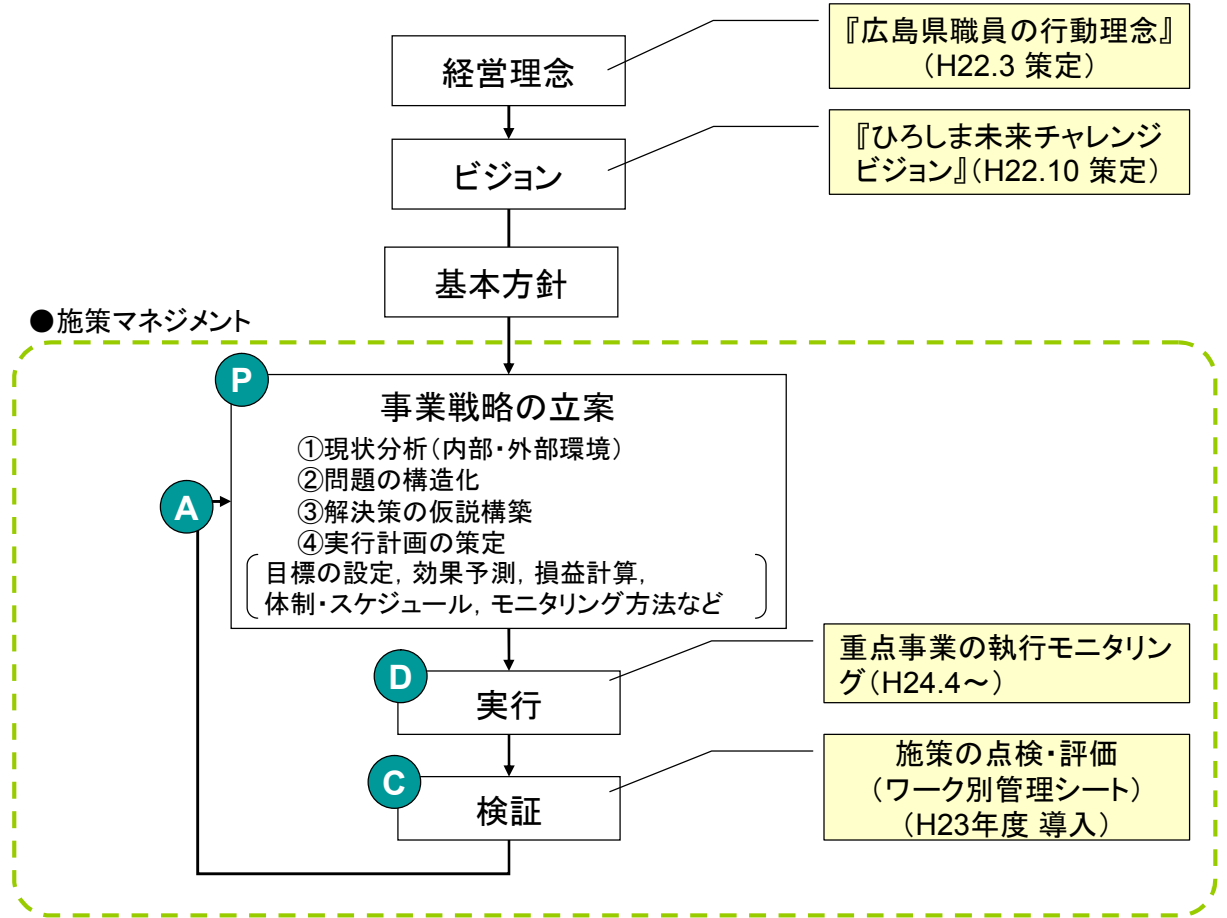
平成25年5月31日  
第1回経済財政会議

## 目 次

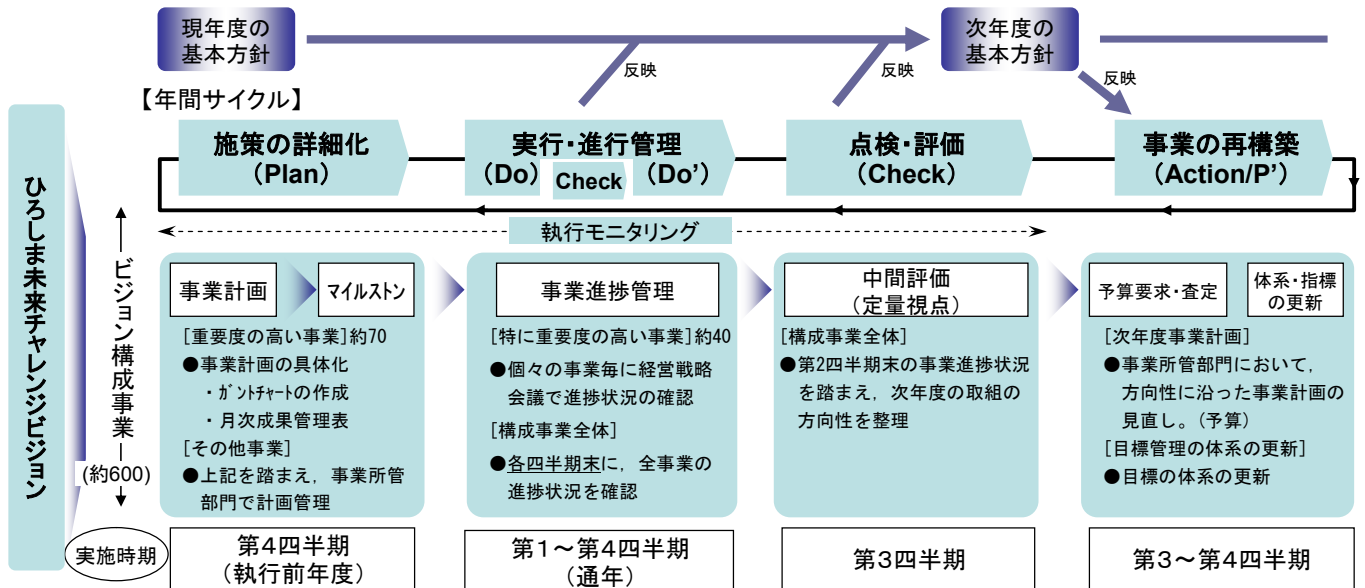
1 施策マネジメントの展開状況及び全体像	1
2 ひろしま未来チャレンジビジョン(概要版)	2
3 中期財政健全化計画及び行政経営刷新計画の概要	14
4 県政運営の基本方針(H23~25)	17

# 施策マネジメントの展開状況及び全体像

## 【全体像】



## 【年間の実施スキーム】





# ひろしま 未来

## チャレンジビジョン

～県民の力とイノベーションで未来をつくる～

将来にわたって、

『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』

と心から思える広島県の実現



# ひろしま未来チャレンジビジョン

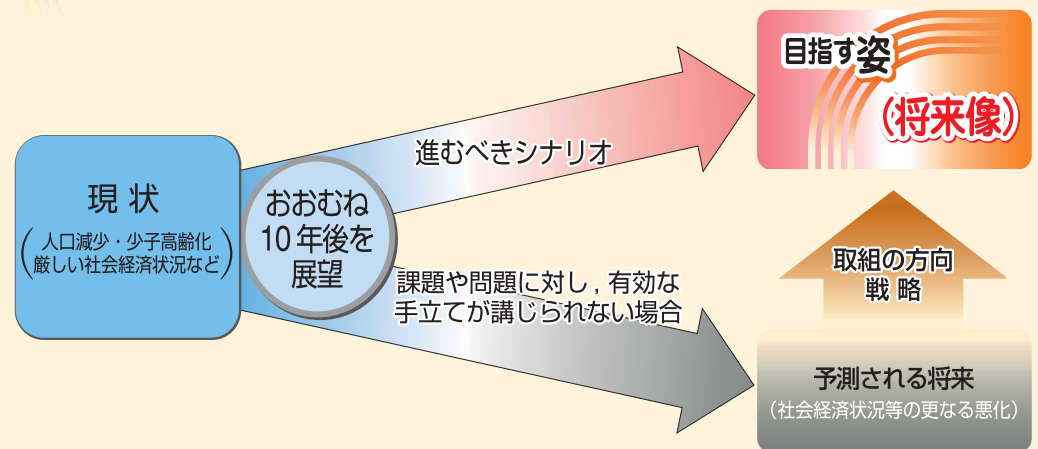
～県民の力とイノベーションで未来をつくる～

## 策定の趣旨

人口減少・少子高齢化，経済活動を始めとするグローバル化の進展など，時代の転換点に立つ中で，社会経済状況等の変化に迅速に対応し，様々な課題を克服していくためには，ピンチをチャンスに変える変革に挑戦しなくてはなりません。

本県の将来をつくっていく主役は県民一人ひとりです。こうした認識に立ち，本県の目指す姿（将来像）を県民の皆様と共有し，一緒に，新たな広島県づくりを推し進めるため，このビジョンを策定しました。

## 基本構成



## ●人口減少・少子高齢化

### 【現状と今後の推移】

- ・ 本県の総人口は平成10(1998)年にピーク，進学や就職による社会減も継続
- ・ 今後，労働力人口が大きく減少(20年間で生産年齢人口は2割減少)
- ・ 老年人口は今後も増加，都市部でも高齢化率が大きく上昇

### 【社会・生活に与える影響】

- ・ 経済活動の縮小（県内総生産の減少，税収の減少等）
- ・ 支援を要する高齢者世帯(特に単身世帯)の増加
- ・ 社会保障負担等の増加による家計負担の増大

## ●経済活動を始めとするグローバル化

### 【現状】

- ・ 人やモノ，資本，情報等が国境を越えて移動するグローバル化が進展
- ・ 成長著しい中国，インドを始めとするアジア地域が世界経済の発展を牽引
- ・ 全国・本県とも，輸出入総額のうち半分近くがアジア地域

### 【社会・生活に与える影響】

- ・ 経済活動を始め，文化・芸術，スポーツなどの様々な分野，県民一人ひとりの日常生活から企業活動に至るまで，あらゆる場面に影響

## 基本理念

将来にわたって、  
『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』  
と心から思える広島県の実現

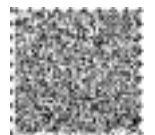
## 目指す姿の実現に向けた4つの挑戦

県民の皆様と共に「目指す姿」を実現するため、「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の4つの政策分野ごとに「目指す姿(将来像)」を掲げ、本県の「強み」を最大限に生かして様々な「挑戦」を行います。



## 〈4つの挑戦を具体化し推進する上での視点〉

- ① 「強み」を生かした活力の創出
  - ・ 挑戦をするとき、自らの「強み」を磨いて生かすことが成功の近道
  - ・ 「強み」を生かして新しいパワーを創出
- ② 「イノベーション」による新たな価値の創造
  - ・ これまでの発想や手法にとらわれず、新しいアイデアで、モノや情報、仕組みなどを組み合わせることにより、新たな価値を創造
- ③ 「グローバル化」への的確な対応
  - ・ あらゆる分野で進むグローバル化を意識し、国際社会の中で生きていく広い視野とグローバルな感覚を持って積極的に行動
- ④ 「県民主体」の新たな広島県づくり
  - ・ 広島県を変えていく原動力は県民一人ひとり
  - ・ 行政は、個人・企業・団体を問わず、挑戦する人を応援
- ⑤ 市町及び近隣県との「連携」
  - ・ 市町及び近隣県との連携を強化し、地域・圏域全体の活性化を推進







# 「人が集まり」への挑戦

## 将来像

これからの本県を内外から支える人材の育成, 人をひきつける就業機会の創出など全ての県民が輝く環境の整備により, 人が集まり, 育ち, 生き生きと活躍しています。

## 目指す姿

### 教育

- 子どもたちが, 将来にわたってたくましく生きる力を持ち, 健やかに育っています。
- グローバルな感覚を持った人材が育ち, 企業や地域社会などで活躍しています。
- 若者が, 社会に貢献できる資質や能力を身に付けています。
- 社会人が, 働きながらスキルの向上や, 社会の変化等に対応した新たなスキルの取得を積極的に目指せる環境が整っています。

### 多様な主体の社会参画

- 性別・年齢等にかかわらず, 全ての県民が活躍できる環境が整っています。

### 人が集まり定着する環境整備

- 広島県の魅力にひかれ国内外から人が集まるとともに, 広島県で育った人が県内に定着する環境が整っています。

## 本県の持つ「強み」 (主なもの)

- 大学等進学率が全国上位(H22(速報): 全国4位)にあります。
- 瀬戸内海や中国山地など海・川や山, 夏の海水浴から冬のスキーまで, 自然体験活動等に活用できる豊かで美しい自然環境に恵まれています。
- 高等教育機関が比較的充実しており, 人口当たりの大学数も全国上位(H20: 全国7位)です。
- 65歳以上の「ボランティア活動」行動者率(H18: 30.5%)は全国7位です。
- 世界的な知名度と西日本有数の産業集積があります。
- 県内全市町に, 外国人の相談窓口や日本語学習支援窓口が設置されています。
- 中四国唯一のプロ野球チーム, プロサッカーチーム, プロオーケストラがあります。(広島東洋カープ, サンフレッチェ広島, 広島交響楽団)



【教育】

外国の文化を学ぶ子どもたち



ブドウ栽培の袋かけ体験

- 子どもたちの更なる学力・体力の向上や豊かな心の育成に取り組みます。
- 地域ぐるみで子どもたちの健全育成を進めるため、学校・家庭・地域等の連携を強化し、地域社会の教育力向上を図ります。
- 外国の文化・言葉の理解等を通じて、グローバルな感覚を持った人材の育成に取り組みます。
- 障害のある幼児児童生徒の障害の種別・程度に応じ、専門的かつ適切な指導・支援の充実を図ります。
- 社会人・職業人としての資質・能力を育むキャリア教育や職業教育などの取組を、地域ぐるみで推進します。
- 県内の高等教育機関が行う、社会が求める人材育成や地域に貢献できる教育研究を支援します。
- 働きながらもスキルの向上や転職等に必要新たなスキルの取得を目指すよう、社会人が学びやすい環境づくりを進めます。



電子機器の組立を学ぶ子どもたち

【多様な主体の社会参画】



大学生による防犯ボランティア活動

- 県民が人権尊重の意識を高め、互いに人として尊重し合う社会づくりを進めます。
- 男女が共に家庭や職場で自らの能力を発揮できる環境づくりを進めます。
- 男女が共に仕事も子育ても充実できる環境整備を推進します。
- 地域社会活動における男女共同参画を推進します。
- 生涯現役として活躍し続けられるよう現役世代から早めの準備を促すとともに、高齢期になっても生きがいを持って就業や地域活動できる環境づくりを進めます。
- 県民のNPO・ボランティア活動への参加を促すとともに、自立したNPOと行政との協働を進めます。



地球温暖化防止に取り組む地域団体

【人が集まり  
定着する環境整備】

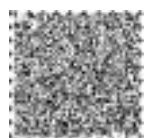


外国人相談窓口

- 県内の高等教育機関の魅力向上により、県内外からの入学者確保を図ります。
- 県内外・国外から、産業人材が集まり、定着するための環境整備を進めます。
- 若年労働者の職場定着を促進します。
- 優秀な留学生の積極的な獲得や留学生の受入体制の整備を図るとともに、県内企業への就職等による定着を促進するための取組を進めます。
- 県内の文化・芸術・スポーツ資源や世界的知名度の活用等により、本県の魅力を創出・発信します。



県立広島大学広島キャンパス





# 「新たな経済成長」への挑戦

## 将来像

新たな挑戦を行う企業や人が活発に活動し、イノベーションを通じて新しい経済成長のステージが生まれることで、魅力のある雇用・労働環境が創出され、県民が将来に向けて大きな希望が持てる強固な経済基盤が整っています。

## 目指す姿

### 新たな産業・基幹産業

- ものづくり産業における世界トップレベルの技術の集積を生かしつつ、新しい産業が生まれ育ち、社会経済情勢や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる「イノベーション立県」が実現しています。
- 新たな挑戦や意欲ある取組が活発に行われ、アジアを中心とする成長市場を獲得しています。

### 農林水産業

- 農林水産業が自立した産業として確立し、生産から販売まで一体的な取組が活発に行われ、若者を含む新たな雇用を創出するなど、地域産業の核となっています。

### 観光

- 「ひろしまブランド」や「瀬戸内ブランド」が確立され、国内外から訪れる多くの人々に感動と癒しを与えるとともに、県民にとっても世界に誇れる観光地となっています。
- 本県産業の柱である「ものづくり」に加え、観光が成長を支える産業の一つとなっています。

### 産業人材・就労

- 経営能力や高度な技術・技能を備えた多彩な産業人材の育成・集積が進み、イノベーションを生み出す源泉となっています。
- 働く意欲のある人が県内で活躍するために、産業構造の変化に柔軟な対応ができる労働市場が形成されています。

### 交流・連携基盤

- 人やモノが集まり、国内外との交流が盛んに行われています。

## 本県の持つ「強み」

(主なもの)

- ものづくり産業における世界トップレベルの技術や、トップシェアを誇る企業等の集積を生かした新たな取組(環境・エネルギー関連産業等)など、成長産業への潜在能力を有しています。
- 国際的知名度やアジアに対する地理的近接性、中四国地方における中枢拠点性があります。
- 企業的な農業経営体を目指す集落法人が、県内各地で設立されています。(全国1位181法人)
- 全国シェアの高い農水産品があります。  
(レモン(全国1位, シェア67%), かき(全国1位, シェア51%))
- 厳島神社(宮島)・原爆ドームの2つの世界文化遺産を有しています。
- 多島美で風光明媚な瀬戸内海や、なだらかで山容美しい中国山地など、多くの景勝地を有しています。
- 製造業を中心とする西日本有数の産業集積を有しています。
- 充実した運航便数を持ち、欧州先進諸国に匹敵する人口・経済規模を持つ中四国を市場とする拠点空港(広島空港)を有しています。
- 中四国地方で唯一50,000トン級のコンテナ船を係留可能なバースを整備し、国際海上コンテナ輸送網の拠点(コンテナ貨物量:全国10位)である大水深バース(広島港/中核国際港湾)を有しています。



【新たな産業・基幹産業】



研究開発機関が集積する広島中央サイエンスパーク

- 本県が誇る“ものづくり産業”の集積を最大限に活用しながら、企業の付加価値・競争力を上げるイノベーション力の徹底強化に取り組みます。
- 成長産業の育成支援に重点的に取り組みます。
- ものづくり技術の高度化や開発を推進します。
- アジアを中心とする海外成長市場を対象としたビジネス機会の拡大を支援します。



i-stop搭載のエコカー

【農林水産業】



キャベツの大規模栽培

- 地域の核となる経営力の高い担い手の育成に取り組みます。
- 生産・流通・加工・販売体制の確立に取り組みます。



県産材の生産



広島特産「かき」



レモンの収穫

【観光】



広島にある2つの世界文化遺産  
厳島神社(宮島)と原爆ドーム

- 魅力ある観光地づくりや観光情報発信の強化などにより、国内外からの観光客誘致に取り組みます。



瀬戸内海の  
多島美



三段滝(三段峡)と  
雄橋(帝釈峡)

【産業人材・就労】



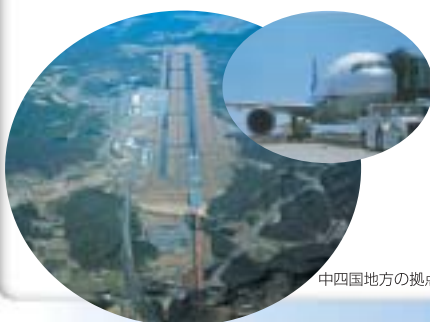
高度な技術が継承されている広島のものづくり

- 高度な技術・技能人材や経営人材など、多様な人材の育成・活用の仕組みづくりを推進します。
- 基盤技術を継承する技術・技能人材の育成などを推進します。
- 働くことを希望する人の就労を支援します。



ひろしまマイスターによる技能指導

【交流・連携基盤】

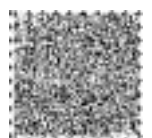


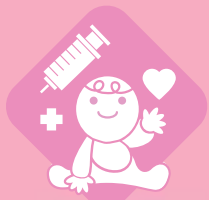
中四国地方の拠点空港「広島空港」

- 中四国地方における拠点空港である広島空港や、国際海上コンテナ輸送網の拠点である広島港、福山港等のグローバルゲートウェイ機能の強化に取り組みます。
- 産業活動等を支えるための基盤整備や広域的な公共交通の利便性向上に取り組みます。
- PFIの導入などによる民間開放と規制緩和の推進を図ります。



福山港国際コンテナターミナル





# 「安心な暮らしづくり」への挑戦

## 将来像

医療・福祉・子育てなど、県民生活に直結した課題について、企業、団体、県民などの様々な主体と連携して、社会全体でその課題解決に取り組み、全ての県民が安心して生活し、幸せを実感できる環境が整っています。

## 目指す姿

### 医療

- 地域に必要な医師等が確保され、安心できる医療サービスを受けることができます。
- 総合的ながん対策が日本一進んでいます。

### 健康

- 県民が生涯にわたり健康に暮らすことを応援する仕組みが整っています。

### 福祉・介護

- 支援や介護が必要な人が、地域で安心して生活できる環境が整っています。

### 子育て

- 県民が生き生きと暮らし、「子育てするなら広島県で！」と選ばれる環境が整っています。

### 環境

- 環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みが構築されています。

### 防災・防疫

- 社会全体で取り組む防災協働社会が実現しています。
- 健康危機管理体制が整備されています。

### 消費生活

- 食品の安全の確保など、消費者の安全・安心を守る仕組みが構築されています。

### 治安

- 治安が向上し、日本一安全・安心な広島県になっています。

## 本県の持つ「強み」

(主なもの)

- 医療・保健・福祉の関係機関連携について、長期にわたる取組による確かな関係を築いています。
- 乳がん・肺がんの検診からフォローアップまで専門機関が連携して治療に当たる本県独自の医療連携体制(がん医療ネットワーク)を構築しています。
- 県民や企業・団体と一緒に、ひろしま健康づくり県民運動を展開しています。
- 合計特殊出生率が5年連続で増加しています。
- こども未来づくり・ひろしま応援隊を中心に、県民や企業などが協力して子育て応援に取り組んでいます。
- 西日本有数の「ものづくり県」として、省エネルギーや環境関連産業の集積及び技術、製品等の開発が進んでいます。
- 本県独自の広島県食品自主衛生管理認証制度及び「安心!広島ブランド」認証制度により、食の安全・安心の確保に努めています。
- 「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動や、各種公共工事等から暴力団を排除する「広島方式」の構築など、全国に先駆けた治安向上の取組を進めています。



【医療】



地域医療システム学  
寄附講座の開設

- 市町、大学、県医師会等と連携して、県内全域の医療体制の確保に努めます。
- 医師が不足する診療科や地域医療を担う医師の人材確保のため、国に対し、臨床研修制度の改善や病院勤務医の就労環境改善等の対策を強く求めます。
- 疾病予防や健康づくりを推進します。
- 効率的な医療提供体制の構築や、適正な受診に向けた県民への意識啓発に取り組み、医療費の適正化に努めます。
- がん対策日本一を目指し、本県の強みを生かしたがん対策を推進します。

【健康】

ひろしま健康づくり県民運動  
による県民ウォーク in 庄原



- 県民の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指します。
- 市町や関係機関等と連携して、自殺やうつ病等のメンタルヘルス対策を推進します。

【福祉・介護】



- 支援や介護が必要な人の尊厳を尊重し、地域で暮らしを支え合う基盤の整備と仕組みづくりを、関係団体との間で築いたネットワークを活用して進めます。
- 障害者の福祉と就労の対策を一体的に推進します。
- 質の高い福祉・介護サービス体制確保のため、人材の確保・育成に努めます。

【子育て】



- 県民みんなで広島県の子どもを育てる機運の醸成と実践を推進します。
- 男女が共に仕事も子育ても充実できる環境整備を推進します。

【環境】



福山太陽光発電所  
完成予想図  
(提供 株式会社東芝)

- 県民、事業者など各主体の自主的取組や連携・協働の取組を促進し、環境と経済の好循環を図りながら、環境保全の取組を着実に進めます。
- 県内企業が有する環境関連技術を生かして、地球温暖化防止に貢献します。

【防災・防疫】



自主防災組織による防災訓練



防疫実施訓練

- 県民の防災意識の醸成と地域の災害対処能力の向上に努めます。
- 災害時の被害を最小限にするための県土の構築及び県・市町の災害対処能力の向上に努めます。
- 強毒性の新型インフルエンザ発生時の官民の対応体制の確立に努めるとともに、エイズ、肝炎及び結核等の感染症に対する対策も着実に推進します。

【消費生活】

食品衛生監視員による  
製造施設の監視・指導



- 消費者、事業者、関係団体、市町等と連携し、消費者視点に立って、消費者被害の未然防止、拡大防止、救済の取組を推進します。
- 行政・生産者・事業者・消費者の役割の明確化と連携強化を図り、食品の生産から消費に至る各段階での対策を徹底します。

【治安】

地域住民による  
子ども見守り活動



- 「安全・安心なまちづくり」と「安全・安心をもたらす警察活動」を両輪として、多様な主体の協働・連携による地域の安全安心を確保する取組を推進します。





# 「豊かな地域づくり」への挑戦

## 将来像

それぞれの地域が、県民や市町を始め企業や地域活動団体とも連携しながら、自らの創意工夫で多様性の中から新たな活力を生み出し、住みやすく個性ある豊かな地域になっています。

## 目指す姿

### 県民主役型 地域社会

■ 自立性を持って連携し支え合う多様な主体の活動により、地域社会が活性化しています。

### 地域資源活用 ・ 地域情報化

■ 地域の特性や資源を生かした産業が生まれ、身近な自然環境や景観の保全、伝統文化や行事の継承など、地域の価値を高める様々な取組が地域ブランドとなり、人々が誇りと愛着を持って、生き生きと暮らしています。

■ 様々な生活場面で情報通信技術が活用され、利便性が向上しています。

### 都市地域

■ 機能的で魅力的な市街地や施設等が整備され、都市的機能が提供されています。

### 中山間地域

■ 日常生活を支える機能が確保されるとともに、地域の特性や資源を生かした産業により、地域の将来を担う若者などの就業の場が確保され、里山に象徴される人と自然が作り出す中山間地域ならではの環境の中で、ゆとりある生活が営まれています。

### 平和貢献

■ 世界で最初の被爆地として、広島県の国際平和の拠点化が進んでいます。

## 本県の持つ 「強み」

(主なもの)

- 全国シェアの高い農水産品を始め全国的に知名度の高い広島産の産品などを有しています。
- 筆、琴など生産量日本一の伝統的工芸品(技法)を有しています。
- 花田植や神楽を始め多くの民俗芸能を有しています。
- 豊富な観光資源と知名度を有しています。(中山間地域などの豊かな自然、景勝地、歴史・文化(地域に伝わる祭りなどの伝統文化)、世界文化遺産等の観光資源)
- 中国横断自動車道尾道松江線が開通することにより、県内を井桁状に巡る高速道路網が完成します。
- 被爆経験と復興の歴史による平和への取組の実績、世界的な知名度を有しています。
- 平和のための人材育成を目的とする国連機関「ユニタール(国連訓練調査研究所)」の支部が広島にあります。





## 【県民主役型地域社会】

地域行事に参加する  
外国人研修生



■多様な主体による地域活動を促進します。



地域の道路や河川を  
清掃・緑化等する「アダプト活動」

## 【地域資源活用・ 地域情報化】



生産量日本一の  
伝統的工芸品  
「熊野筆」と「福山琴」



- 地域資源を活用した製品の開発や魅力向上に取り組みます。
- 観光資源のブラッシュアップや連携等による魅力向上と活用促進に取り組みます。
- 瀬戸内海の資源や人をつなぎ国内外に魅力を発信します。
- 情報通信基盤を活用した県民生活の利便性の向上を図ります。



経済効果が期待される  
瀬戸内の資源を活用した「瀬戸内 海の道構想」

## 【都市地域】



港湾上屋を利用転換したにぎわい施設

- 都市中心部への機能集約などによるコンパクトで利便性の高いまちづくりを推進します。
- 魅力的な水際線を活用したにぎわい空間の創出を図ります。



## 【中山間地域】



- 若者を始め地域の将来を担う人材の定着に向け、就業機会の創出に取り組みます。
- 持続可能な生活交通体系への再編を促進します。
- 市町、大学、県医師会等と連携して、県内全域の医療体制の確保に努めます。
- 日常生活を支える仕組みづくりなどについて、市町等と連携して取り組みます。
- 集落と日常生活拠点との依存状況など、地域の構造を踏まえた日常生活圏の維持に取り組みます。



就業機会を創出する  
集落法人による野菜栽培

## 【平和貢献】

放射線被曝者医療  
国際協力推進協議会による  
医師等の受入研修(ロシア、ラトビア)



■被爆と復興の経験等を更に発展させ、国際平和の実現に向け積極的に貢献していきます。

ユニタール広島事務所による  
「アフガニスタン奨学研修」



# ひろしま 未来チャレンジビジョン

～県民の力とイノベーションで未来をつくる～

「ひろしま未来チャレンジビジョン」は、  
広島県のホームページから御覧いただけます。

ひろしま未来チャレンジビジョン

検索



お問合せ先 広島県 企画振興局 政策企画課  
〒730-8511 広島市中区基町10-52  
電 話 (082)513-2414  
ファクシミリ (082)212-4025  
E-mail kiseisaku@pref.hiroshima.lg.jp

## 中期財政健全化計画及び行政経営刷新計画の概要

# 中期財政健全化計画の概要

挑戦 そして 実現！  
— 引き出せ、広島県の威力。 —

## 1 県財政の現状と今後の財政収支見通し

### (1) 今後の財政収支見通し ... P.3

- 今後、100億円から200億円程度の調整(財政健全化の取組など)が必要となる見通し
- 一方、人件費はH27年度にピークを迎え、臨時財政対策債分を除く公債費も、H26年度にピークを迎える見込み

### (2) 財政関係指標の推移 ... P.6

- 経常収支比率については、H21年度決算で 92.2% ~ 公債費・補助費等に係る比率が上昇 ⇒ 財政構造の硬直化の要因
- 将来負担比率については、H21年度決算で268.4% ~ 都道府県平均を大幅に超過 ⇒ 県債残高の縮減が課題

## 2 「中期財政健全化計画」の基本的考え方

### (1) 計画策定の目的 ... P.8

弾力的かつ持続可能な財政構造の確立に向けて、計画的かつ着実に、財政健全化策に取り組むことにより、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の4つの挑戦を着実に実施していく上での財政面での「基盤づくり」を推進

### (2) 財政健全化に向けた基本方針 ... P.8

- フロー指標、ストック指標などを今後の財政運営の指針とし、計画的かつ着実に、財政健全化に向けた取組を推進
- その取組に際しては、一定の見通しに基づき見込まれる歳入に対して、歳出をマネジメントしていくための財政フレームを設定

## 3 中期財政健全化計画

### (1) 計画期間 ... P.9 H23年度～H27年度

### (2) 財政健全化に向けた目標 ... P.9

- 経常収支比率を90%程度の水準に可能な限り近づけます〔フロー指標〕
- 将来負担比率を288%未満に抑制します〔ストック指標〕
- 「実質的な県債残高」を5年間で1,400億円程度縮減します

### (3) 財政健全化策 ... P.10

#### ① 経常的経費の削減

- 人件費マネジメント
  - 公債費の抑制
- #### ② 特別の財源対策(歳入対策)
- 財産の売却
  - 収入未済額の縮減
  - 基金の活用

#### ③ 政策的経費の見直し

- 事務事業の見直し [H22⇒H27]
  - ・ 一般事業費 : ▲10.0%〔一財ベース〕
- 普通建設事業等の見直し [H22⇒H27]
  - ・ 補助公共・単独公共(建設) : ▲20.0%〔一財ベース〕
  - ・ 国直轄事業負担金 : ▲10.0%〔一財ベース〕
  - ・ 単独公共(維持) : 0.0%
  - ・ その他の投資的経費
    - ・ 学校耐震化対策を除く : ▲20.0%〔一財ベース〕
    - ・ 学校耐震化対策 : 0.0%

- 1 -

挑戦 そして 実現！  
— 引き出せ、広島県の威力。 —

### (4) 財政フレーム ... P.11

「経常的経費の削減」「特別の財源対策」を行っても、H27年度の要調整額は▲42億円 ⇒ 政策的経費の見直しにより解消

### (5) 人件費マネジメント ... P.15

- 職員数の見直し  
H27年度までに840人を上回る削減
- 給与構造改革等  
給与構造改革、その他の見直し、  
H22年人事委員会勧告による給与等の見直し
- その他  
時間外勤務の縮減

#### 人件費見直し効果額のポイント

- ・ 人件費総額(推計)は、H22年度に比べ、H27年度は ▲80億円  
H32年度は▲262億円
- ・ 人件費マネジメントに伴う累計効果額(推計)は、  
H23年度からH27年度までの累計で ▲449億円  
H23年度からH32年度までの累計で▲1,055億円

### (6) 財政関係指標の今後の見通し(対策後) ... P.20

#### ① 財政構造の弾力性に関する指標の推計【フロー指標】経常収支比率

[対策前] H27年度には 92.8% ⇒ [対策後] H27年度には 92.1%

#### ② 財政構造の持続可能性に関する指標の推計【ストック指標】将来負担比率

[対策前] H27年度には286.4% ⇒ [対策後] H27年度には283.1%

#### ③ 実質的な県債残高

[対策後] H27年度には1兆3916億円 ~ H22年度に比べて1,453億円減少する見込み

## 4 新たな財政マネジメントの推進

### (1) 「マネジメント・アカウンティング」の導入と予算編成への活用 ... P.24

新公会計制度の作成基準を活用した事業別の行政コスト計算書の作成・導入を推進 ⇒ 成果主義の徹底

### (2) 資産マネジメントの推進 ... P.24

資産マネジメントの基礎となる資産情報の整備を推進 ⇒ 未利用資産の売却や資産の有効活用の推進

- 2 -



# 「行政経営刷新計画」の概要

## 【Ⅰ 計画作成の考え方】...P.1

**1 県民サービスの向上に向けた不断の行政改革...P.1**  
 最少の経費で最大の効果を発揮し、県民サービスのより一層の向上を図るため、効率的な組織体制の整備などの行政改革に取り組む。

**2 新たな活力を創出するための推進体制の整備...P.1**  
 広島県の底力を引き出し、新たな活力を生み出すため、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の4つの挑戦を着実に実施し、成果を上げていくための推進体制を整備する。

↓

**「4つの挑戦」を支える行政経営を刷新**  
 (計画期間 平成23年度から平成27年度まで)

## 【Ⅱ 基本理念】...P.2

- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」の4つの挑戦に向けた、「行政面での基盤づくり」
- 経営戦略を基本に、次の3つの視座を踏まえた ①戦略的な行政経営、②組織体制の最適化、③職員力を引き出す人材マネジメント の推進

**県民起点**  
 「広島県職員の行動理念」を念頭に、常に「何が県民のためになるか」を考え、目標を共有しながら、スピード感を持って行動

**現場主義**  
 職員が県民ニーズを幅広く捉え、県民が必要とする行政サービスを提供

**成果主義**  
 職員一人ひとりが、「どうしたらできるか」という姿勢で、行動と学習を繰り返し、成果を追及し、職員も組織も成長する職場を形成

## 【Ⅲ 取組内容】...P.4

**1 戦略的な行政経営...P.4**

**(1) 行政経営の最適化...P.4**

- 経営戦略会議等を中心に、重要施策等へのスピーディーな対応など、経営感覚を持ったトップマネジメントを確立
- 施策マネジメントの確立
  - ・ 全庁的・体系的なミッション・マネジメントを実践
  - ・ 「県政運営の基本方針」により、県の経営戦略を明確化
  - ・ 県民ニーズ等の現場情報の収集・共有化、施策への反映など、県民起点、現場主義、成果主義を徹底

**(2) 3つの視座を踏まえた行政経営...P.6**

- 真に県民が必要とするサービスへ経営資源を重点化・集中化
- 現場感覚を持って創意工夫を発揮し、業務効率を向上
- 成果主義の視点から業務等を検証し、無駄を排除

**(3) 国・地方を通じた権限・財源の最適化...P.7**

- 国の出先機関事務の受入れなど、国との関係を最適化
- 市町との関係を最適化
- 新たな広域自治体の構築に向けた取組

**2 組織体制の最適化...P.8**

**(1) 組織機構の最適化...P.8**

- ① 事業部門における取組
  - 経営戦略に基づいた組織を構築
  - プロジェクト・チーム等を活用し、局横断課題へスピーディーに対応
  - 現場情報の収集・共有や本庁と地方機関が一体となり取り組む仕組みなど、現場機能を強化
- ② 管理部門における取組
  - トップマネジメント・サポート機能を強化
  - 事業の円滑な推進に向け、事業部門へのサポート機能を充実

**(2) 様々な主体と連携した取組の推進...P.10**

- ① 指定管理者制度の活用
  - 指定管理者制度の効率的な管理運用と更なる運用改善
- ② 県出資法人の経営体制の強化
  - 経営体制の強化と情報開示の推進、出資法人全般の見直し
- ③ 県と市町等、多様な主体との連携
  - 市町等との役割分担を最適化、NPOなど多様な主体と協働

**(3) 計画的な定員管理...P.12**

「最少経費で最大効果」の行政経営の基本原則に立ち、組織の活力の維持との両立を図りながら、定員管理を最適化

- ・ 組織の合理化
- ・ ベストプラクティス(先進事例)の導入
- ・ 業務効率の向上 など

区分	現在(H22)	目標(H27)
一般行政部門	4,727人	4,300人(▲427人)
教育部門	19,509人	19,096人(▲413人)
警察部門	5,601人	5,601人(± 0人)

**3 職員力を引き出す人材マネジメント...P.16**

**(1) 新たな行政需要に対応する多様な人材の確保...P.16**

- 社会人採用など、年齢構成に配慮して計画的に職員を採用
- 民間経験者採用など、多様で柔軟な雇用形態を活用

**(2) 独自水準給料表の導入...P.16**

- 地域手当の完成に伴い、給料を引き下げた独自水準給料表を導入

**(3) 広島県独自の給与・任用改革...P.17**

- ① 職員がそれぞれのステージで能力を発揮できる人事管理
  - 職制の再整理、標準職務の明確化、弾力的な昇任管理
  - 多様な業務経験を通じた人材育成システムを構築
- ② ミッションの明確化による組織パフォーマンスの向上
  - 管理職員から一般職員まで一貫した目標管理・評価システム
- ③ 職員のやる気と成果に応える給与制度
  - 管理職員の定期昇給を廃止(「実質的年度制度」への移行)
  - 成果主義を踏まえた給与制度を一般職員へ拡大





## 県政運営の基本方針 H23～H25 抜粋



# 平成23年度県政運営の基本方針

平成22年12月



## I 平成23年度県政運営の基本方針の位置付け

挑戦そして実現！  
-引き出せ、広島県の威力。-

- ◇ 平成23年度は、おおむね10年後を展望し、本県が目指す姿を示す「ひろしま未来チャレンジビジョン」の初年度である。目指す姿の実現に向けた取組を着実に推進するには、本県が直面する社会経済の状況等を勘案した上で、年度ごとの施策の方向を具体的に示し、次年度以降の展開につなげていく必要がある。
- ◇ このため、平成23年度の「県政運営の基本方針」では、少子高齢・人口減少社会の進展、厳しい経済・雇用情勢等がもたらす課題を明らかにするとともに、「人づくり」「新たな経済成長」「安心な暮らしづくり」「豊かな地域づくり」の4つの政策分野の中で、平成23年度に特に重点的に取り組むべき分野と施策について、重点化の基本方向を示し、それを踏まえた重点施策を掲げる。
- ◇ 併せて、重点化の基本方向を踏まえた、平成23年度の予算編成方針と行政経営方針を示す。

### Ⅲ 平成23年度の基本的な方針

- ◇ 平成23年度は、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の初年度として、「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の4つの政策分野で、10年後の目指す姿に向かって着実に歩みを進める必要がある。
- ◇ **行政の第一の役割は、民間では難しい公共サービスの提供などにより、県民の暮らしの安心を確保することである。**さらに、今後、地域の個性に合わせ、**地域の特性や資源を活用し、ほかにはない魅力を創出しながら、新たな活力を生み出していくことが求められる。**
- ◇ **これらを実現するための力の源泉が、すべてに共通する基盤となる「人」**であり、どんなに優れた資源があっても人材がいなければ力を引き出すことはできない。
- ◇ また、**雇用や所得を生み出す「経済成長」を活力を生み出すエンジン**と位置付け、「人づくり」とあいまって「安心な暮らし」と「豊かな地域づくり」を実現する。
- ◇ 一方、本県では今後、人口減少・少子高齢化及び経済活動のグローバル化などの環境変化が更に進展し、労働力や消費需要の減少に伴う経済活動の縮小、社会保障負担等の増加による家計支出の増大、ボーダレス社会における内外を問わない地域間競争の激化など、県民生活の様々な場面で具体的な影響が想定される。
- ◇ 本県が直面しているこうした課題に有効な手立てを講じるためには、**人口減少、厳しい経済・雇用情勢、逼迫する財政状況への対策が急務**であると考えられる。

#### ＜重点施策＞

- ◇ このため、「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の4つの政策分野の中でも、平成23年度は、**「人づくり」と「新たな経済成長」の2分野に重点的に取り組む**こととする。
- ◇ また、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」においても、**平成22年度に計画の策定や事業化への仕込み、基盤づくりに着手したものなどについて、確実に軌道に乗せ、成果を結実させるため、特に重要な施策について、重点化すべき事業に着実に取り組んでいく。**

#### ＜予算編成＞

- ◇ 平成23年度当初予算の編成に当たっては、**重点施策の考え方に基づく集中的な取組**を進めるとともに、**平成22年度予算と一体的で切れ目ない「緊急経済・雇用対策」の取組**を進める。
- ◇ また、新たな活力を創出するための取組を支える財政面の「基盤づくり」として、**「中期財政健全化計画」に基づく財政健全化に向けた取組**を進める。

#### ＜行政経営＞

- ◇ 平成23年度の行政経営に当たっては、経営戦略を基本に、成果の早期実現に向け、**新たな活力を創出するための推進体制の整備**を進める。
- ◇ 同時に「最少経費で最大効果」を目指し、**県民サービスの向上に向けた不断の行政改革**を進める。
- ◇ また、職員の能力アップと組織の総合力の発揮に向け、**職員の力を引き出す人材マネジメント**を進める。

## IV 平成23年度重点施策

### 1 重点分野の施策の選択と集中

- ◇ 平成23年度においては、4つの政策分野の中でも、「人づくり」と「新たな経済成長」を重点分野として、中期(3年程度)を目途に、以下の取組を集中的に進める。
- ・ 労働力人口の減少を補う潜在的労働力の活用
  - ・ 将来の広島県を支える人材の育成
  - ・ 社会減に歯止めをかける対策の実施
  - ・ 経済波及効果や雇用創出効果の早期の具現化
  - ・ 県内産業の競争力強化に向けた次世代投資  
(イノベーション力の徹底強化, 成長事業への集中的支援, 海外市場をターゲットとした戦略)
  - ・ 新たな成長を促す産業人材の育成・確保
- ◇ 以下の視点に着目し、施策のさらなる選択と集中を進める。
- ① 早期に効果がある施策
- ・ 1, 2年で効果を出すべき施策・事業
- ② 次世代への投資
- ・ 効果の発現に時間を要するものの、次世代への投資として早期に着手すべき施策・事業
  - ・ 他の施策・事業を先導するもの、新たな事業への展開性が見込まれる施策・事業
- ◇ なお、この取組にあたっては早期に事業着手をするものとし、
- ①については、平成23年度に可能な限り成果を得ることを目指すとともに、
- ②についても各年度ごとの目標を定めてその成果を検証し、必要に応じて修正しながら(PDCAサイクル)、一定のスパンで成果を得ることを目指す。






挑戦そして実現！  
—引き出せ、広島県の底力。—

# 県政運営の基本方針2012（抜粋）

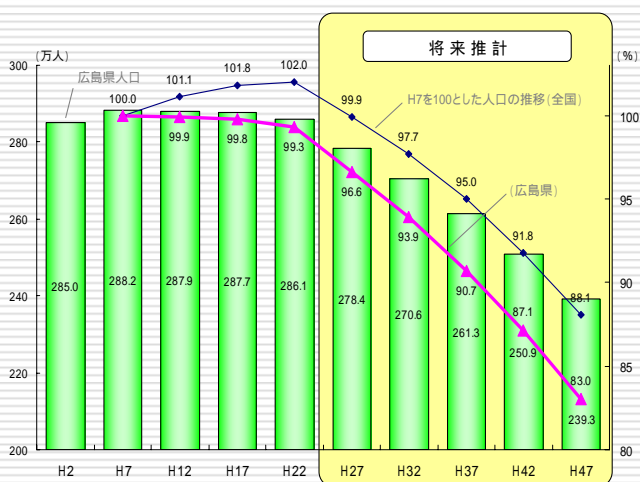
---

平成23年12月  広島県

## 県政を取り巻く背景と課題

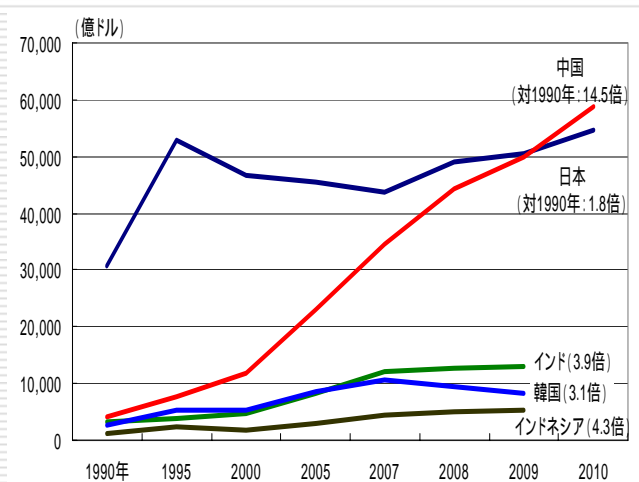
- 平成22(2010)年10月に「ひろしま未来チャレンジビジョン」を策定し、概ね10年後を展望した本県の将来像を示すとともに、この実現に向けて、これまでの発想や手法にとらわれることなく、イノベーションによって新たな価値を創造していくことを基本として掲げている。
- また、取り組むべき方向を4つの政策分野《人づくり、新たな経済成長、安心な暮らしづくり、豊かな地域づくり》に分類し、各分野を相互に関連するシステムとしてとらえた上で、好循環を形成するため、その推進力となる《経済成長》と共通基盤となる《人づくり》への重点的取組の道筋を明示している。
- このビジョンに基づき、平成23(2011)年度は「仕込みと基盤づくり」から新たな政策「実行」の初年度として、ビジョン実現に向けた重点施策への集中的な取組をスタートさせたところであり、今後はこの流れを引き継ぎ、さらに「加速」させるべく、成果を念頭に置いた取組ときめ細かいモニタリングを実施していく必要がある。
- 併せて、人口減少や少子高齢化、グローバル化の進展、先の「東日本大震災」などにより、顕在化した構造的な課題について、中長期的な観点から時代の潮流変化を踏まえた上で適切に対応していく必要がある。

【人口の将来推計】



総務省「国勢調査」  
国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」

【アジア各国のGDPの推移】



出所) 総務省統計局「世界の統計」

# ひろしま未来チャレンジビジョン (2010年10月策定)

～ 県民の力とイノベーションで  
未来をつくる

## 人づくり

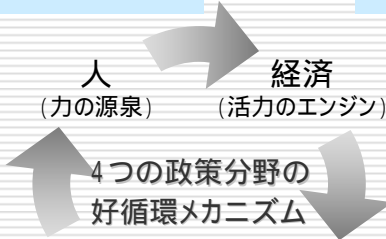
経済、医療、福祉、教育など、あらゆる分野での力の源泉は「人」であり、経済活動を始めとするグローバル化が進展する中においては、グローバル化に対応した人材育成という視点も必要です。

教育
多様な主体の社会参画
人が集まり定着する環境整備

## 新たな経済成長

人口減少の中で社会を維持していくには、イノベーションを通じて強い経済をつくり、魅力ある雇用を創出する必要があります。

新たな産業・基幹産業	産業人材・就労
農林水産業	交流・連携基盤
観光	



## 豊かな地域づくり

地域の特性や資源を活用し、ほかにはない魅力を創出しながら、新たな活力を生み出していくことが求められます。

県民主役型地域社会
地域資源活用・地域情報化
都市地域
中山間地域
平和貢献

## 安心な暮らしづくり

行政の第一の役割は、民間では難しい公共サービスの提供などにより、県民の暮らしの安心を確保することです。

医療	環境
健康	防災・防疫
福祉・介護	消費生活
子育て	治安

## 現状の背景と課題

## 課題

### 東日本大震災

- ✓危機管理(想定外の災害への備えが必要)
- ✓復興、復旧支援
- ✓エネルギー戦略の再構築

防災体制の強化(インフラ, BCP)  
機能の移転・分散  
再生可能エネルギーの普及促進

### 人口減少, 高齢化の加速

- ✓労働力人口の減少が一層加速
- ✓国内市場(需要)の縮小

成長を支える産業人材の育成  
女性の社会進出や子育て支援  
イノベーションの創出を視野に入れた  
海外高度人材の受け入れ促進  
イノベーションによる需要の創出

### 成長するアジア市場

- ✓中国のGDPは世界第2位に
- ✓東アジア域内での生産ネットワークの構築

アジアとの協働  
対中ビジネス戦略の強化  
(アジアの成長の取り込み)

## 県政運営の基本姿勢

---

～ 未来に向かって「加速」する ～

- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」で目指す姿をスピード感をもって着実に実現していくためには、進展しつつある環境変化や中長期的な構造変化を見据えた上で、変革への対応力と政策の実行力を高めていくことが必要。
- 平成24(2012)年度の広島県政は、直面する課題に柔軟かつ果敢に対応しつつ、成長の原動力となる取組を一段と「加速」する年と位置づけ、組織力を最大限に発揮しつつ、広島県の可能性を最大級に引き出しながら、より高い次元での成長を目指していく。

## 特に注力する重点施策

### 基本的な考え方

#### 《経済成長》と《人づくり》への重点化

- 県全体の成長エンジンを最大限に加速させるため、引き続き、雇用や所得を生み出す《経済成長》とあらゆる分野の力の源泉となる《人づくり》を重点分野として、内外から“多様な人材”を集め、“グローバル”な視点と新しい価値を創造する“イノベーション”を通じて、県民が将来に向けて大きな希望が持てる強固な経済基盤と生き生きと活躍できる環境を整備する。

#### 4つの政策分野の好循環

- 新しいアイデアや創意工夫により新たな価値を創造していくためには、内外から人や情報などが集まることが必要である。そのためには、産業面における取組に加え、多くの人々が行ってみたい、住んでみたいと思える質の高い生活基盤や地域の魅力づくりなど、環境面からの効果的な取組を強化することが重要である。このような形で、4つの政策分野が相乗効果をもたらしながら好循環する流れを生み出すことが求められる。
- このため、《暮らし》と《地域》の分野においては、本県の強みや資源を活かし、生活環境面での総合的な魅力を高める観点に立って、暮らしに直結した医療を支える仕組みづくりや、都市の魅力づくり、中山間地域の魅力づくり、都市と中山間地域の交流・連携による魅力づくりなど、重点分野の後押し効果を最大限に発現させるための取組に重点化を図る。
- さらに、東日本大震災を踏まえ、エネルギーや防災対策などの構造的な課題等に対応する取組を強化するとともに、本県が果たすべき新しい平和貢献の形として、また、広島の特徴を強化する取組として、国際平和拠点構想の具体化に向けた取組を着実に推進する。

## 重点施策の構成

### 未来に向かって「加速する」

#### 重点分野

##### 人づくり

- 女性の社会参画の促進
  - ✓結婚・出産、子育て、ポスト子育て期に応じた就業支援策
  - ✓キャリアを活かせる就業の受け皿の創出
- グローバル人材の育成・確保
  - ✓グローバル感覚を持った人材の継続的な育成
  - ✓グローバル人材の受入拡大
- 社会減に歯止めをかける対策
  - ✓若年層の転出超過に歯止め
  - ✓就職等でのU・Iターン促進
- 将来の広島県を支える人材の育成
  - ✓すべてのベースとなる子どもたちの学力・体力の向上
  - ✓実体験などを通じた全人的な教育

##### 新たな経済成長

- 新たな成長産業の育成
  - ✓次代を支える医療関連・環境浄化産業クラスターの形成
  - ✓「ひろしまブランド」「瀬戸内ブランド」の構築に向けたプロモーション等の強化
  - アジア市場への参入・獲得（アジア戦略）
    - ✓中国内陸部をはじめとしたアジアとの経済交流の拡大
    - ✓アジアとの交通・物流機能の拡充・強化
- イノベーション力の徹底強化
  - ✓イノベーション人材の育成・確保
  - ✓研究・技術開発や事業化に向けた環境整備
- 自立に向けた農林水産業のイノベーション
  - ✓経営力のある担い手の育成
  - ✓「売れるものを作る」生産体制の確立
  - ✓戦略的な販売・流通等の仕組みの構築

世界を視野に  
Globalization

多様な人材の集積  
Diversity

新しい価値の創造  
Innovation

重点分野の可能性を  
最大限に後押し

##### 安心な暮らしづくり

安心して暮らせる  
質の高い生活の基盤づくり

- 地域医療体制の確保
  - ✓医療資源の効果的な活用
  - ✓「がん対策日本一」の推進

##### 豊かな地域づくり

内外から多彩な人材を  
多く惹きつける魅力の発揮

- 内外の人々を惹きつける  
魅力ある地域環境の創出
  - ✓内外からクリエイティブな人材が集う地域の活力強化
  - ✓活力を生み出す中山間地域の未来創造

大震災により  
顕在化した課題への対応

- 再生可能エネルギーの導入促進
  - ✓太陽光発電などの導入促進
- 防災対策の拡充・強化
  - ✓地震被害想定の見直し
  - ✓想定を超える災害への対応

広島使命


- 国際平和拠点の形成
  - ✓「国際平和拠点ひろしま構想」の実現への取組
  - ✓平和のメッセージの発信と  
NGOの平和貢献活動の支援



挑戦そして実現！  
—引き出せ、広島県の底力。—

# 県政運営の基本方針2013 (抜粋)

---

平成24年12月  広島県

## これまでの主な取組

2010

### ひろしま未来チャレンジビジョンの策定（2010年10月策定）

- 概ね10年後を展望した「ひろしま未来チャレンジビジョン」を策定し、本県の将来像を示すとともに、新しい価値を創造する“イノベーション”によって未来を切り拓くことを基本に、4つの政策分野をフレームワークとした今後の取組方向を明示
- また、ビジョンの実現に向けた政策の実行を支えるリソース・マネジメント（5カ年計画）として、財政面での基盤づくりを着実に推進するための「中期財政健全化計画（2010年12月策定）」と行政面からの基盤づくりの指針となる「行政経営刷新計画（2010年12月策定）」を策定

2011 県政運営の基本方針

### 《人づくり》と《経済成長》への重点化

- あらゆる分野の力の源泉となる《人づくり》と雇用や所得を生み出す推進力となる《経済成長》を重点分野として、新たな観点からの取組に着手
- 人づくり分野においては、女性の仕事と子育てに対する両立支援や留学生の受入・定着に向けた取組などを拡充
- 経済成長分野においては、10年先を見据えた本県産業の進むべき方向性や道筋を整理し、社会経済や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる“イノベーション立県”を目指した「ひろしま産業新成長ビジョン」を策定  
また、今後大きな成長が期待される分野や本県の強みを活かした分野を中心に、産業クラスターの形成に向けた取組に着手するとともに、「ひろしまイノベーション推進機構」の設立など、新たな視点からの取組に着手

## 2012 県政運営の基本方針

### 4分野の好循環を通じて成長の原動力となる取組を加速

- 新しいアイデアや創意工夫による新たな価値の創造に向けて、引き続き、《人づくり》と《経済成長》を重点分野に、人材の育成・確保やクラスター形成、観光、海外ビジネス拡大など、産業面における取組を加速
- また、重点2分野の後押し効果を最大限に発現させ、4つの政策分野を好循環させる観点から、《暮らしづくり》と《地域づくり》の分野においても、内外から多くの人を惹きつけるための生活環境面における効果的な取組を拡充するとともに、大震災により顕在化した課題への対応力の強化や本県の強みを特徴づける平和への取組を強化
- 更に、中長期的な観点から、成長の原動力となるイノベーション力の徹底強化に向けて、産業面における「イノベーション加速戦略」や地域における総合的な魅力を高めるための「都市圏魅力創造戦略」の検討に着手

## 県政運営の基本姿勢

---

### ～ 新たな成長の軌道に向かって 「進化」 する ～

- 県政運営は、県民の信頼と負託の上に成り立つものであり、県民の期待に応える形で、広域自治体としての社会的責任を果たしつつ、成果の発現に向けた堅実で着実な取組を推進していく必要がある。
- こうした観点に立ち、社会環境の変化等に柔軟に対応しながら、「ひろしま未来チャレンジビジョン」で目指す姿を着実に実現していくためには、成果重視の施策マネジメントを一層徹底するとともに、これまでの取組を深化させ、具体的な成果を積み上げ、その効果を広く波及させていくことが重要。
- また、一つひとつの取組を効果的に推進していくためには、県民に身近に位置する市町や経済活動を担う企業などとの連携・協働が不可欠であり、地域における様々な課題や目標を共有した上で、行政全般にわたる県・市町相互のパートナーシップ、民間とのコラボレーションを、より強固なものとしていく必要がある。
- こうしたことを踏まえ、平成25年度の広島県政は、新たな成長の軌道に向かって《進化》を促す年と位置づけ、これまでの仕込みと基盤づくりを起点として緒に就いた取組を、オール広島体制の下で、次なる成長のステージにつなげるべく、広島の持てる力を最大限に発揮する。

## 政策の基本方向

### ～ 1次産業から3次産業まで幅広く **イノベーションを起こす** ～

- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」は、人、経済、暮らし、地域の4つの政策分野を相互に関連するシステムとして捉え、好循環の形成を目指している。その中でも特に、あらゆる分野の力の源泉となる「人づくり」と、雇用や所得を生み出す「新たな経済成長」を重点分野として、着実な取組を進めているところである。
- このビジョンに沿って、仕込みと基盤づくりから実行段階へと進めてきたこれまでの取組を新しい成長の軌道にしっかりと乗せていくためには、とりわけ、新しい価値を生み出すイノベーションを継続的に起こしていくことが必要であるが、その取組は産業振興や人材育成などの施策が緒についたところであり、未だ十分とは言い難い状況にある。
- このため、平成25年度は、ビジョンに掲げる「イノベーションを通じて強い経済をつくり、魅力ある雇用環境を創出」するための施策を一段と強化する必要があり、1次産業から3次産業まで幅広く **《イノベーションを起こす》** ことを基本に、イノベーションの創出に必要な要素を、4つの政策分野を横断した政策パッケージとして新たな視点から整理した。

イノベーション これまでの発想や手法にとらわれることなく、新しいアイデアでモノや情報、仕組みなどを組み合わせることにより、新たな価値を創造していくこと。

#### イノベーション創出に向けた4つの視点

- イノベーションに適した、より豊かな環境を構築するためには、イノベーション力の強化に直接つながる「技術 (*Technology*)」や多様なバックグラウンド、スキルを持った「有能な人材 (*Talent*)」、多彩で異質なものを受け入れる「寛容性 (*Tolerance*)」が不可欠である。  
また、これに加え、人を惹きつけ、魅了する観点から、活気ある「場」の提供や、若者が安心して子どもを生み、育てられる「生活環境」、更には、大都市圏と明確に差別化できる魅力ある「地域環境」を創出することが重要である。
- こうしたことを踏まえ、
  - イノベーションと密接に関わり、重要な環境要素となる **《ダイナミックな事業環境》**
  - イノベーションの原動力となる **《多様な人材の集積》**
  - イノベーションを担う人材の家族が安心して暮らせ、楽しめる環境としての **《ファミリー・フレンドリー》**
  - 将来の活躍が期待される若者に焦点を当てた **《社会で活躍する人材の教育》**の4つの視点から施策の重点化を図り、イノベーションを通じた新たな価値創造が加速する「好循環サイクル」の形成を目指す。

# ひろしま未来チャレンジビジョン

## 県民の力とイノベーションで未来をつくる

(目指す姿) 将来にわたって、『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現

### 人づくり

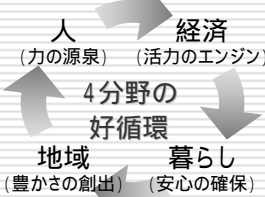
経済、医療、福祉、教育など、あらゆる分野での力の源泉は「人」であり、経済活動を始めとするグローバル化が進展する中においては、グローバル化に対応した人材育成という視点も必要です。

- 教育
- 多様な主体の社会参画
- 人が集まり定着する環境整備

### 新たな経済成長

人口減少の中で社会を維持していくには、イノベーションを通じて強い経済をつくり、魅力ある雇用環境を創出する必要があります。

- 新たな産業・基幹産業
- 産業人材・就労
- 農林水産業
- 交流・連携基盤
- 観光



### 豊かな地域づくり

地域の特性や資源を活用し、ほかにはない魅力を創出しながら、新たな活力を生み出していくことが求められます。

- 県民主役型地域社会
- 地域資源活用・地域情報化
- 都市地域
- 中山間地域
- 平和貢献

### 安心な暮らしづくり

行政の第一の役割は、民間では難しい公共サービスの提供などにより、県民の暮らしの安心を確保することです。

- 医療
- 健康
- 福祉・介護
- 子育て
- 環境
- 防災・防疫
- 消費生活
- 治安

1次産業から3次産業まで幅広く  
~イノベーションを起こす~

## イノベーションに必要な環境要素とフレームワーク

- 創業の活発化・新事業展開の加速
- クラスターの形成
- 海外とのつながり
- 農林水産業のイノベーション

### ダイナミックな事業環境

- 仕事  
~家庭(子育て)と両立しやすい就労環境
- 生活  
~安心・安全な生活環境, 都市圏と自然環境の近接

### ファミリー・フレンドリー

1次産業から3次産業まで幅広く  
イノベーションを起こす

### 多様な人材の集積

- 新たな価値を創造する人材, 海外市場の開拓に必要な人材の育成・集積
- 若者(潜在的イノベティブ/グローバル人材)の定着

### 社会で活躍する人材の教育

- 安心して学べる教育環境の確保に向けた緊急対策
- 小・中・高等学校段階での「知・徳・体」の育成を通じた社会人基礎の着実な定着
- グローバル化に対応でき、マネジメント力を身に付けた人材の育成を含めた大学段階での教育内容の質的改革

#### 4つの政策分野への反映

- イノベーションの創出に向けた4つの視点(ダイナミックな事業環境,多様な人材の集積,ファミリー・フレンドリー,社会で活躍する人材の教育)に沿ってまとめた施策の基本的な方向を,「ひろしま未来チャレンジビジョン」の4つの政策分野に反映させると次に整理した分野別の体系図のとおりとなる。
- これに沿って,《経済成長》と《人づくり》を重点分野に,《暮らしづくり》や《地域づくり》においても,重点分野の取組を最大限後押ししながら,本県におけるイノベーション力の徹底強化を図り,1次産業から3次産業まで,幅広くイノベーションを起こしていく。
- また,円高の進行,世界景気の減速等により,厳しい経済・雇用情勢が継続している状況を踏まえ,国の緊急経済対策等にも呼応し,機動的・弾力的に対応していく。
- これに加えて,広島が強みや基盤を活かした政策の継続という観点から,広島の使命を特徴づける「国際平和拠点ひろしま構想」の推進や東日本大震災により顕在化した課題への対応力の強化など,中長期的な施策についても,仕込みから実行,実現へと連続的かつ戦略的につないでいく。



～ 1次産業から3次産業まで幅広く **イノベーションを起こす** ～

重点分野

新たな経済成長

- 創業の活発化・新事業展開の加速
  - ✓つながりによるネットワーク強化, 多様な創業・事業化支援
  - ✓新たなビジネス・投資を支える大胆な環境整備
- 新たな成長産業の育成
  - ✓次代を支える医療関連・環境浄化産業クラスターの形成
  - ✓「ひろしまブランド」「瀬戸内ブランド」の国内外への浸透と観光産業の高度化
- アジア市場への参入・獲得 (アジア戦略)
  - ✓アジアとの経済交流の拡大
  - ✓アジアとの交通・物流ネットワークの確立
- 自立に向けた農林水産業のイノベーション
  - ✓経営力の高い担い手の育成
  - ✓「売れるものを作る」生産体制の構築と戦略的な販売・流通の推進

人づくり

- 新たな価値を創造する人材, 海外市場の開拓に必要な人材の育成・集積
  - ✓新たな価値を創造する人材, グローバル化に対応し活躍できる人材の育成
  - ✓県内企業のグローバル化に対応できる海外人材の積極的な確保
- 女性の働きやすさ日本一への挑戦
  - ✓結婚・出産, 子育て, ポスト子育て期に応じた就業支援策
  - ✓キャリアを活かせる就業の受け皿の創出
- 若者の定着・就業の徹底支援
  - ✓若年層の転出超過に歯止め
  - ✓就職等でのU・Iターン促進
- 社会で活躍する人材の教育
  - ✓安心して学べる教育環境の確保に向けた緊急対策
  - ✓小・中・高等学校段階での「知・徳・体」の育成を通じた社会人基礎の着実な定着
  - ✓グローバル化に対応でき, マネジメント力を身に付けた人材の育成を含めた大学段階での教育内容の質的改革

重点分野の可能性を最大限に後押し

安心な暮らしづくり

- 信頼される県内医療体制の構築
  - ✓都市部の医療体制の再構築による医療の高度化, 医療環境の充実
  - ✓プライマリケア医を中心とする広島版地域包括ケアシステムの構築
- 「がん対策日本一」に向けた取組の強化
  - ✓地域・職域におけるがん総合対策の推進
  - ✓がん医療の質の向上と高度医療の提供

豊かな地域づくり

- 国内外から多様な人材が集まる魅力ある地域環境の創出
  - ✓新たな価値を創造する人材が集う地域環境づくり
  - ✓活力を生み出す中山間地域の未来創造
  - ✓都市と自然の近接性を活かして人を呼び込む取組の推進

- ダイナミックな事業環境
- 多様な人材の集積
- ファミリー・フレンドリー
- 社会で活躍する人材の教育

**大震災により顕在化した課題への対応**

- 再生可能エネルギーの導入推進
  - ✓太陽光発電などの自然エネルギーの導入推進と買い取り制度の課題への対応
- 防災対策の拡充・強化
  - ✓大規模災害に備えた防災対策
  - ✓あらゆる分野での「防災」の観点による点検の推進

**広島の実命**

- 国際平和拠点ひろしまの形成
  - ✓「国際平和拠点ひろしま構想」の実現に向けた戦略推進
  - ✓世界への平和のメッセージの発信



